



お願い

「喉の痛み・咳・倦怠感」
などある方は院内に入らず、
まず電話にて相談をお願いします。

電話 0823-71-0151

駐車場について

駐車場は病院の表側が主となります。満車の際は裏側にもありますが、一般の方も借りられているため写真を参考にして駐車をお願いします。



こちらの扉は使用
出来ません。
お手数ですが正面玄関を
ご利用下さい。

待合室のレイアウトが変わりました



2月3日は『節分の日』です

栄養師 藤井 未菜

節分は立春の前日にあたる日のことをいい、古くは宮中で行われていた大晦日の行事であったといわれています。旧暦では大晦日が節分にあたり、1年の邪気を払う目的で豆まきをするようになりました。立春は年によって日付が変わることもあるため、来年は2月2日になるようです。

節分の日食べるものといえば、何が思いつきますか？

大豆や恵方巻、イワシ、そば(旧暦・年越し)などが挙げられますが今回は恵方巻についてお話したいと思います。

恵方巻とは、節分の夜に恵方を向いて食べる太巻き寿司のことです。

切り分けられてない太巻き寿司を無言で食べると良いとされています。現在、恵方巻を食べる習慣は全国で知られる行事となっていますが、もともとは関西地方で商人が商売繁盛を願い、太巻き寿司にかぶりついていた風習が始まりだといわれています。これをセブンイレブンの広島県の一部店舗で「恵方巻」として売り出し、好評だったことが全国に広まったきっかけだといわれています。

恵方巻を食べる時に大切なのが、その年ごとの縁起の良い方角を向くことです。

恵方巻の「恵方」は歳徳神という神様のいる方角のことをいいます。歳徳神は年神、正月神とも呼ばれ、その年の福德を司る神です。この神様のいる方向は、全てにおいて大吉となりとても縁起がいい方角となります。

今年の方角は**東北東**です。食べられる時には是非！

*恵方巻については別紙にて掲示していますので参考にしてみてください。





画：大室彩陽

恵方巻を作る時、具材にはどんなものを入れても構いませんが、縁起の良い七福神にあやかり、7種類入れて巻くことがよいとされています。

「福を巻き込み、体内に取り入れると福が来る」という意味になるそうです。

定番の具材を紹介します。

- **かんぴょう**・・・細く長い形から「長生きできるように」
- **しいたけ**・・・古来より神様のお供え物
- **伊達巻（厚焼き卵）**・・・黄色い色から「金運」
- **うなぎ**・・・「うなぎのぼり」という言葉もあり、
出世や上昇
- **桜でんぶ**・・・原材料の鯛より「めでたい」
- **海老**・・・曲がった腰と長いひげがあり「健康長寿」
- **きゅうり**・・・名前より「9つの利」をもたらす

